

環境方針

「滋賀銀行環境方針」のもと、環境を主軸とするCSR（企業の社会的責任）を追求し、心身ともに「クリーンバンクしがぎん」の実現にしがぎんグループあげて取り組んでいます。

『しがぎん』の環境方針とその取り組み ～クリーンバンク『しがぎん』をめざして～

- 1 滋賀銀行は、地球環境の保全ならびに環境への負荷低減を企業活動の基本と認識し、環境マネジメントシステムの継続的改善および環境汚染の予防に努め、「環境との共生」をめざします。

<具体的な取り組み>
2000年3月、環境管理の国際規格「ISO14001」を取得。

- 2 関連する環境の法規制、および滋賀銀行が同意するその他の要求事項を遵守します。

<具体的な取り組み>
定期的に法規制などの制定・改正・廃止の情報収集や遵守状況を確認。

- 3 エコオフィスづくりの中で、省資源および省エネルギーを推進します。

<具体的な取り組み>
「しがぎんエコスタイル」キャンペーンの実施による電力の使用量削減、「リサイクルシステム」の活用等による紙資源の有効利用など。当行が購入する商品、サービスの全般において環境にやさしい製品を「グリーン購入」。

- 4 環境対応型金融商品の開発・推進ならびに情報提供を通して、琵琶湖をはじめとした自然環境保全への取り組みを、地域とともに進めます。

<具体的な取り組み>
環境ご融資「琵琶湖原則支援資金」「エコ・クリーン資金」「エコ&耐震住宅ローン」「カーボンニュートラルローン 未来よし」等をご用意。環境情報の発信・コンサルティング先。

- 5 この環境方針を基に全従業員が環境について考え行動します。

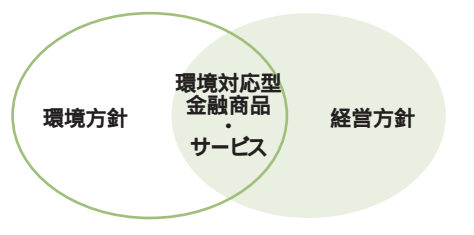
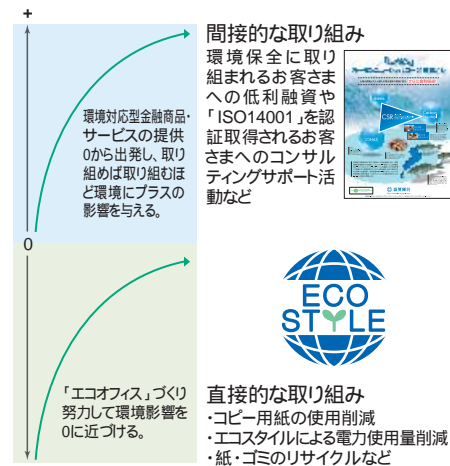
<具体的な取り組み>
「小さな親切」運動の一環である「日本列島クリーン大作戦」や「ゴミ割り」などに参加。当行役職員が毎年自主的に琵琶湖畔を清掃。

平成11年10月制定

環境マネジメントシステム

当行の「環境マネジメントシステム」は、大きく2つの側面にわけて展開しています。

環境影響



ISO14001

「エコオフィスづくり」に加え、銀行の本業を通じての環境保全活動を「環境マネジメントシステム」に組み込み、活動している点が審査機関に評価され、当行は、平成12年に金融機関の中でいち早く、環境管理の国際規格である、ISO14001の認証を取得しています。

平成19年2月に受審した更新審査では、「しがぎん」琵琶湖原則支援資金（PLB資金）（P8・9参照）に対して多くの皆さまからご賛同いただいたこと、また長期経営計画の経営目標に掲げた、地球温暖化ガス（CO₂）排出量の削減についても、平成12年度比6%削減して目標を達成したことから、「いづれもCSRと環境経営の方針に基づき内外に大きな影響を及ぼす活動を行っている」と、高い評価を受けました。



しがぎん VOICE



ISO実施責任者の声 業務統轄部 川崎 哲史

私は平成11年の環境マネジメントシステムの予備審査の頃よりISO14001の認証取得をはじめ、さまざまな環境活動に携わってきました。そのなかで今特に感じることは、戸惑いながら始まった環境活動も、今ではほとんどの役職員が日常の活動のなかで当然のこととして取り組めるようになってきたということです。この当行の取り組みが、地域社会に少しでも影響を与えることができればと考えています。